

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいの家 田島

作成日: 平成 30 年 11 月 12 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	外部からの参加委員が少なく、委員が固定化し、会議内容が画一化しているため、会議の内容や議題について検討し、参加委員の増員を図り、充実した運営推進会議を目指していく。	会議に、薬剤師、地域で活躍している有識者、知見者、公民館館長、駐在所の警察官、近隣の他事業所管理者等、幅広く参加を呼びかけ、より活発な意見交換ができる会議運営に取り組み、情報を共有する事で、地域の課題解決に繋げ、地域福祉の拠点を目指していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	利用者の重度化や職員の勤務体制等で、日常的な外出の支援が困難になっているが、職員の配置を工夫し、近所の散歩や庭に出ての外気浴等に取り組み、利用者の気分転換を図っていく。	近所に開店したコンビニエンスストアに、車椅子の利用者が買い物に出かけたり、介護度の軽い利用者と職員が、日常的に散歩に出かける等、利用者が日常的に外気に触れることができるような外出の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。